

琉球弧を再び戦場にさせない！

石垣島は今... 4.5 横浜集会



講師：内原 英聡
 (うちらは ひでとし)さん
 → 1984年沖縄県石垣島生まれ。法政大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。日本学術振興会特別研究員DC1、法大社会学部非常勤講師、『週刊金曜日』編集部勤務など。田中優子『カムイ伝講義』(2008年、小学館)で一部執筆担当。17年帰郷。18年、石垣市議会議員選挙で初当選(現在2期目)。ミサイル基地配備計画の白紙撤回を求め、戦場化が迫る琉球弧の現状に警鐘を鳴らす。

石垣島では、陸自部隊配備から一年も経たないうちに、駐屯地の拡大計画が浮上しています。石垣島で何が起きているのか？琉球弧の戦場化を阻むために私たちに何ができるのか、共に考えます。多くのみなさんの参加を！

「国境は武器で閉ざすべきではない」—これは八重山における沖縄戦の悲劇を掘り起こしてきた石垣島の郷土史家の著書の一節です。
 今、琉球弧の島々は「台湾有事」を口実にした軍事要塞化の最前線に立たされています。陸自のミサイル部隊が配備され、民間港や空港、公道を利用した日米共同演習が繰り返され、「全島避難」まで想定される中、沖縄戦の「悪夢」が島々の人々の中に蘇りつつあります。

特別報告：沖縄の国連軍基地

講師：明 真南斗(あきらまなと)さん
 →1991年沖縄県那覇市生まれ。早大卒業後、2014年から琉球新報記者。普天間第二小への米軍ヘリ窓落下等を取材、22年4月から東京支社、主に防衛省を取材。本年2月琉球新報連載の「沖縄の国連軍基地」について緊急レポート。



石垣駐屯地に弾薬搬入



4月5日(金)18時半

**【会場】 横浜市技能文化会館
 2階多目的ホール1 →**



主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会
 ★結ぶ会代表世話人：仲宗根保(鶴見沖縄県人会元幹事長)・高梨晃嘉(元横浜市議)
協賛：神奈川平和運動センター/原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議
連絡：090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜) 資料代：800円(学生無料)